

創薬研究における IPランドスケープの活用



小林 誠 氏

株式会社シクロ・ハイジア
代表取締役CEO
大阪工業大学 知的財産学部
特任教授

国際特許事務所、大手監査法人、外資系大手M&Aアドバイザー会社を経て現職に至る。経営・事業戦略アドバイザー、M&Aファイナンシャルアドバイザー、知的財産戦略アドバイザーを専門とする。製造業、ライフサイエンス業界、およびICT業界におけるIPランドスケープを中心とした事業戦略策定、新規事業開発、知財戦略策定、オープンイノベーション支援等に従事。令和6年度 経済産業省 特許庁「知財功労賞（特許庁長官表彰）」受賞



村上果菜 氏

デロイト トーマツ弁理士法人
マネージングディレクター
弁理士

製薬会社で約25年にわたり、創薬研究、オープンイノベーション、知的財産業務に携わる。現在は、医薬・医療機器開発の初期段階シーズを対象に、特許調査や競合分析、特許出願・権利化などの知財支援を行っている。創薬に関するサイエンス、ビジネス、知財の知見を生かし、事業化や出口戦略を見据えた知財戦略の構築と価値最大化を支援している。

講演要旨

「ライフサイエンス系スタートアップに必要な知財戦略の要諦」 小林誠 氏
長い開発期間と莫大な開発コスト、そして激しい技術競争が伴うライフサイエンス領域において、知財戦略はスタートアップの生死を分ける鍵となります。本セミナーでは、知財情報と市場データ等を統合・分析して事業戦略や研究開発戦略の意思決定に活かす「IPランドスケープ」の重要性を解説します。単なる権利取得に留まらず、競合の動向予測、強みの客観視、さらには投資家へのアピールやアライアンス獲得に向けて、知財情報をどのように活用すべきか、基本の考え方から実践の第一歩までをわかりやすくご紹介いたします。

「創薬におけるIPランドスケープ活用法 — 特許を「読む」ことで見える事業化の方向性 —」 村上果菜 氏
IPランドスケープというと、特許を大量に俯瞰して分析する手法を思い浮かべがちです。しかし、創薬・ライフサイエンス領域では、他分野とは少し異なるアプローチが求められます。自社技術の立ち位置や競合との差別化要因、事業化の方向性を見極めるためには、特許情報などの母集団を丁寧に設計し、個々の特許情報等を読み込んで分析につなげることが重要です。本セミナーでは、創薬分野ならではのIPランドスケープ活用法を、事例を交えてご紹介いたします。

2026. 7.30 THU
16:00~17:30

開催場所 LINK-Jラウンジ

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-10 Research Gage Building Tonomachi 'RGBII) 1階

講演

16:00 - 16:45

Q&Aセッション

16:45 - 17:00

ネットワーキング

17:00 - 17:30

創薬・バイオ関連企業の研究者、事業開発や知財担当の方、事業化を検討するアカデミアの方など、ぜひご参加ください！

